想定した品目　なし（露地）

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴
なし 露地150a （SS防除体系） 経営耕地面積 自作地150a	人 2.5	幸水（露地、無袋） 豊水（露地、無袋） 新高（露地、有袋） 合計	a 50 60 40 150	1.早生種～晩生種による収穫労力の分散と台風被害リスク軽減 2.「幸水」および「豊水」はLED防蛾灯を設置し、無袋栽培による品質向上と省力化を図る 3.「豊水」および「新高」は鉄パイプで棚面を補強し、台風による落果を軽減 4.「豊水」を主体に、「あきづき」導入を推進
経営目標	1 農業総収入 13,964 千円 2 農業経営費 9,948 千円 3 農業所得 4,016 千円	4 1日当たり農業所得 10,963 円 5 1人当たり年間労働時間 1,172 時間		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
建物・施設					千円		千円
	果樹棚【1,321千円】	15	平棚鉄支柱	1	19,816	14	708
	棚補強パイプ（豊水、新高のみ）	10	32mm×4m鉄パイプ組み	1	952	14	34
	LED防蛾灯施設（幸水、豊水のみ）	11	400W型シリンダー灯2基、防雨延長コード30m、防雨三又延長コード3m	1	792	7	57
	作業収納舎66㎡	1	鉄骨組み	1	3,136	24	131
				1			
	計				24,696		929
農機具	スピードスプレヤー（SS）	1	4WD 500L 12.5kw	1	2,700	7	193
	トラック（軽）	1	0.35t積み、4WD	1	872	4	109
	小型運搬車	1	2.2kw	1	163	4	20
	動噴	1	4.0MPa	1	199	7	14
	刈払い機	1	排気量20.9ml	1	44	7	3
	人工授粉機	1	羽毛回転式	1	27	7	2
	ハンマーナイフモア	1	歩行用刈幅65cm、5.9kw	1	327	7	23
	葯採取機	1	25kg/h（花量）	1	82	7	6
	開葯機	1	3,500cc（生葯量）	0.5	102	7	7
	計				4,516		378

３－１. 技術体系（なし：幸水、無袋栽培）

（10a当たり人、時間）

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
間伐せん定	間伐 整枝 せん定 枝誘引	12～1月		1	70	70	誘引ひも 3巻	・計画的に縮間伐を行う。 ・主枝数 3本 ・主枝・亜主枝の先端は強めに切り返す。 ・長大化した側枝は更新する。
土壌改良	堆肥、土壌改良資材施用	11月	ﾄﾗｯｸ	2	3.5	7	堆肥 2t 苦土入りカキガラ石灰 100kg ﾋﾟｰﾄﾓｽ 100L	・土壌改良資材は土壌診断結果に基づいて施用する。 ・石灰質資材と肥料は施用間隔を2週間以上あける。 ・土壌改良資材は施用後、土とかき混ぜる。 ・2～3年に1回を目標に、樹間を部分的に軽く中耕する。
草生管理	草刈り	4月～8月	ﾊﾝﾏｰﾅｲﾌﾓｱ	1	4	4	稲わら 1t	・土壌の乾燥防止のため梅雨明け前に主幹周辺に敷きわらをする。 ・できるだけ草刈りを行い、地力増進に努める。
施肥	春肥 礼肥	2/上 8/下	運搬車	1	4	4	配合肥料 (N：10%)200kg	・年間の窒素分施割合 春肥：80% 礼肥：20% ・施肥量は土質、樹勢、収量等により調整する。 ・生育の旺盛な園では施肥量を控えめにする。
防除	薬剤散布	3～12月	SS	1	9	9	1回の散布量 300～500L	・病害虫の発生動向を十分に把握し、適期防除に努める。 ・無袋なので、特に輪紋病、黒星病、ｶﾒﾑｼ類の発生に注意する。 ・薬剤散布は県病害虫防除基準による。
摘らい受粉	摘らい 花粉採取 人工受粉	4/上	人工受粉機	1	12	12	純花粉 8ｇ 石松子 160g	・子花、花そう葉の無い花、主枝、亜主枝の先端の花は摘除する。 ・花粉は石松子で20～30倍に薄め、3～4分と8分咲の時に受粉する。
摘果	粗摘果	4/中		1	25	25		・粗摘果では果そうの2～4番果の中から横～斜め下向きの正常果を残す。 ・仕上げ摘果は、小玉果、変形果を主体に行う。 ・子花果、及び無着葉短果枝の果実は摘除する。 ・10a当たり着果数、収量の目安 10,000果×350g＝3,500kg
	仕上げ摘果	5/上		1	19	19		

３－１．技術体系（なし：幸水、無袋栽培）

（10a当たり人、時間）

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
熟期促進処理	ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝﾍﾟｰｽﾄ塗布	4/下		1	12	12	ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝﾍﾟｰｽﾄ 200g	・満開30～40日後に20～30mgを果柄に塗布する。果実には付着しないよう十分に注意する。
収穫出荷	収穫選果箱詰め出荷	8/上～中	ﾄﾗｯｸ運搬車重量選別機	2	40	80	出荷箱（10kgDB） 300箱 出荷ﾄﾚｰ 600枚 ｶﾗｰﾁｬｰﾄ	・収穫は気温の低い早朝に行う。 ・カラーチャート値で2.5～3程度を目安に収穫する。 ・日持ちが悪いので、過熟にならないよう注意する。 ・果実はていねいに取り扱う。
新梢管理	芽かき	4/中～5/中		1	4	4		・主枝、亜主枝の上面から出た芽は除去する。 ・側枝の横面から出た枝を棚面に対して30～45度の角度に誘引する。
	新梢誘引	6/上～下		1	16	16	誘引ひも　3巻	
防蛾灯の設置	LED黄色灯点灯 保全	6/下～8/中	LED防蛾灯施設	1	1	1	LEDｼﾘﾝﾀﾞｰ灯 2,900ﾙｰﾒﾝ 2基／7年	・580nm付近に最大波長があるLED黄色灯を選ぶ。 ・収穫30日前～収穫終了の期間、日没後から夜明けまで点灯する。 ・ﾁｬﾊﾞﾈｱｵｶﾒﾑｼには忌避効果はあるが、ﾂﾔｱｵｶﾒﾑｼ、ｸｻｷﾞｶﾒﾑｼに対しては効果が低いので、発生に注意する。
その他	棚の補強、農道、防風垣補修、潅水	1～12月		1	9	9		・梅雨明け後、必要に応じて潅水する。
計						272		

３－２．技術体系（なし：豊水、無袋栽培）

（10a当たり人、時間）

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
間伐せん定	間伐 整枝 せん定 枝誘引	12～1月		1	70	70	誘引ひも 3巻	・計画的に縮間伐を行う。 ・主枝数 3本 ・主枝・亜主枝の先端は強めに切り返す。 ・長大化した側枝は更新する。
土壌改良	堆肥、土壌改良資材施用	11月	ﾄﾗｯｸ	2	3.5	7	堆肥 2t 苦土入りカキガラ石灰 100kg ﾋﾟｰﾄﾓｽ 100L	・土壌改良資材は土壌診断結果に基づいて施用する。 ・土壌改良資材は施用後、土とかき混ぜる。 ・２～３年に1回を目標に、樹間を部分的に軽く中耕する。
草生管理	草刈り	4月～9月	ﾊﾝﾏｰﾅｲﾌﾓｱ	1	4	4	稲わら 1t	・土壌の乾燥防止のため梅雨明け前に主幹周辺に敷きわらをする。 ・できるだけ草刈りを行い、地力増進に努める。
施肥	春肥 礼肥	2/中 9/中	運搬車	1	4	4	配合肥料(N：10%)200kg	・年間の窒素分施割合 春肥：80% 礼肥：20% ・施肥量は土質、樹勢、収量等により調整する。 ・生育の旺盛な園では施肥量を控えめにする。
防除	薬剤散布	3～12月	SS	1	9.5	9.5	1回の散布量 300～500L	・病害虫の発生動向を十分に把握し、適期防除に努める。 ・無袋なので、特に輪紋病、黒星病、ｶﾒﾑｼ類の発生に注意する。 ・薬剤散布は県病害虫防除基準による。
摘らい受粉	摘らい 花粉採取 人工受粉	3/下～4/上	人工受粉機	1	12	12	純花粉 8ｇ 石松子 160g	・子花、花そう葉の無い花、主枝、亜主枝の先端の花は摘除する。 ・花粉は石松子で20～30倍に薄め、3～4分と8分咲の時に受粉する。
摘果	粗摘果	4/下		1	25	25		・粗摘果では果そうの2～4番果の中から横～斜め下向きの正常果を残す。 ・仕上げ摘果は、小玉果、変形果を主体に行う。 ・子花果、及び無着葉短果枝の果実は摘除する。 ・10a当たり着果数、収量の目安 10,000果×400g＝4,000kg
	仕上げ摘果	5/中		1	19	19		

３－２．技術体系（なし：豊水、無袋栽培）

（10a当たり人、時間）

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
収穫出荷	収穫選果箱詰め出荷	8/下～9/中	ﾄﾗｯｸ運搬車重量選別機	2	40	80	出荷箱（10kgDB）400箱 出荷ﾄﾚｰ 800枚 ｶﾗｰﾁｬｰﾄ	・収穫は気温の低い午前中に行う。 ・カラーチャート値で2.5～3程度を目安に収穫する。 ・日持ちが悪いので、過熟にならないよう注意する。 ・果実はていねいに取り扱う。
新梢管理	芽かき	3/下～4/中		1	5	5		・主枝、亜主枝の上面から出た芽は除去する。 ・側枝の横面から出た枝を棚面に対して30～45度の角度に誘引する。
	新梢誘引	6/上～中		1	10	10	誘引ひも 3巻	
防蛾灯の設置	LED黄色灯点灯 保全	7/上～8/下 (50日間)	LED防蛾灯施設	1	1	1	LEDｼﾘﾝﾀﾞｰ灯2,900ﾙｰﾒﾝ 2基／7年	・580nm付近に最大波長があるLED黄色灯を選ぶ。 ・収穫30日前～収穫終了の期間、日没後から夜明けまで点灯する。 ・ﾁｬﾊﾞﾈｱｵｶﾒﾑｼには忌避効果はあるが、ﾂﾔｱｵｶﾒﾑｼ、ｸｻｷﾞｶﾒﾑｼに対しては効果が低いので、発生に注意する。
その他	棚の補強、農道、防風垣補修、潅水	1～12月		1	9	9		・梅雨明け後、必要に応じて潅水する。
計						256		

３－３．技術体系（なし：新高、有袋栽培）

（10a当たり人、時間）

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
間伐せん定	間伐 整枝 せん定 枝誘引	12～1月		1	70	70	誘引ひも 3巻	・計画的に縮間伐を行う。 ・主枝・亜主枝の先端は強めに切り返す。 ・長大化した側枝は更新する。 ・短果枝群はできるだけ花芽を整理する。
土壌改良	堆肥、土壌改良資材施用	11月	ﾄﾗｯｸ	2	3.5	7	堆肥 2t 苦土入りカキガラ石灰 100kg ﾋﾟｰﾄﾓｽ 100L	・土壌改良資材は土壌診断結果に基づいて施用する。 ・土壌改良資材は施用後、土とかき混ぜる。 ・２～３年に１回を目標に、樹間を部分的に軽く中耕する。
草生管理	草刈り	4月～9月	ﾊﾝﾏｰﾅｲﾌﾓｱ	1	4	4	稲わら 1t	・土壌の乾燥防止のため梅雨明け前に主幹周辺に敷きわらをする。 ・できるだけ草刈りを行い、地力増進に努める。
施肥	春肥 礼肥	2/中 10/中	運搬車	1	4	4	配合肥料(N：10%)200kg	・年間の窒素分施割合 春肥：80% 礼肥：20% ・施肥量は土質、樹勢、収量等により調整する。 ・生育の旺盛な園では施肥量を控えめにする。
防除	薬剤散布	3～12月	SS	1	10	10	1回の散布量 300～500L	・病害虫の発生動向を十分に把握し、適期防除に努める。 ・薬剤散布は県病害虫防除基準による。
摘らい受粉	摘らい 花粉採取 人工受粉	3/下～4/上	人工受粉機	1	12	12	純花粉 8ｇ 石松子 160g	・子花、花そう葉の無い花、主枝、亜主枝の先端の花は摘除する。 ・新高は花粉がないので、前年の他品種の花粉を冷凍貯蔵しておき、発芽テストを行って使用する。 ・花粉は石松子で20～30倍に薄め、3～4分咲の時と8分咲の時に受粉する。
摘果	粗摘果	4/下		1	35	35		・果房での着果位置2～4番果の中から横～斜め下向きの正常果を残す。 ・仕上げ摘果は、小玉果、変形果を主体に行う。 ・子持ち花果、及び無着葉短果枝の果実は摘除する。 ・10a当たり着果数、収量の目安 6,000果×800g＝4,800kg
	仕上げ摘果	5/中		1	9	9		

3－3. 技術体系（なし：新高、有袋栽培）

（10a当たり人、時間）

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
袋かけ	大袋かけ	5/中～6/上		1	40	40	超特大袋 6,000枚	・省力化のため、大袋1回かけとし、果梗の強度を確認してからかける。ただし、輪紋病多発園では小袋、大袋の2回掛けとする。
収穫出荷	収穫 選果 箱詰め 出荷	9/下～10/上	トラック 運搬車 重量選別機	2	26.5	53	出荷箱 （10kgDB） 432箱 出荷トレー 864枚	・果皮色に緑色が残っている果実は果肉が硬く酸味も強いので、完全に黄褐色から赤褐色に着色した果実から収穫する。
新梢管理	芽かき	3/下～4/中		1	5	5		・主枝、亜主枝の上面から出た芽は除去する。 ・側枝の横面から出た枝を棚面に対して30～45度の角度に誘引する。
	新梢誘引	6/上～中		1	10	10	誘引ひも　3巻	
その他	棚の補強、農道、防風垣補修、潅水	1～12月		1	9	9		・梅雨明け後、必要に応じて潅水する。 ・台風に備えて、棚面が風で揺れないようパイプの補強を入れる。新高は特に台風被害を受けやすいので、防風対策を万全にする。
計						268		

4. 品目の作付体系

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
幸水 （露地）		施肥	↑	※♂ ― 摘果	―	― 誘引	―	■◆■◆ 施肥			土壌改良	せん定
豊水 （露地）		施肥	↑	※♂ ― 摘果	―	― 誘引	―	― ■◆	■◆ 施肥		土壌改良	せん定
新高 （露地）		施肥	↑	※♂ ― 摘果	― 袋かけ	― 誘引	―	―	― ■◆	■◆ 施肥	土壌改良	せん定

注）生育ステージ記号　↑：発芽　※：開花　♂：人工授粉　■：収穫　◆：出荷

5. 作業別・旬別労働時間(10a当たり時間)

1)幸水(無袋)

品目・作業／月	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			計
間伐せん定	20	20																																	10	20	70
土壌改良																															7						7
草生管理										1						1			1			1															4
施肥				2																				2													4
防除							0.5		0.5	0.5	0.5	0.5	1	0.5	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5								0.5							0.5	9
摘らい・受粉										12																											12
摘果											25		19																								44
熟期促進処理												12																									12
収穫出荷																						20	60														80
新梢管理											2			2		5	5	6																			20
防蛾灯設置																		0.5					0.5														1
その他					1			1									1			1			1			3			1								9
																																					0
計	20	20	0	2	1	0	0.5	1	0.5	13.5	27.5	12.5	20	2.5	1	6.5	6.5	7	1.5	1.5	0.5	21	61.5	2	0	3	0	0	1.5	0	7	0	0	0	10	20.5	272
月計	40			3			2			53.5			23.5			20			3.5			84.5			3			1.5			7			30.5			

2)豊水(無袋)

品目・作業／月	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			計
間伐せん定	20	20																																	10	20	70
土壌改良																															7						7
草生管理										1						1			1						1												4
施肥					2																					2											4
防除							0.5		0.5	0.5	0.5	0.5	1	0.5	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5							0.5							0.5	9.5
摘らい・受粉									6	6																											12
摘果												25		19																							44
収穫出荷																								30	30	20											80
新梢管理									2		3					5	5																				15
防蛾灯設置																			0.5					0.5													1
その他					1			1									1			1			1			3			1								9
																																					0
計	20	20	0	0	3	0	0.5	1	8.5	7.5	3.5	25.5	1	19.5	1	6.5	6.5	0.5	2	1.5	0.5	0.5	1	30.5	31	25	0	0	1.5	0	7	0	0	0	10	20.5	255.5
月計	40			3			10			36.5			21.5			13.5			4			32			56			1.5			7			30.5			

3）新高（有袋）

品目・作業／月	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			計
間伐せん定	20	20																																	10	20	70
土壌改良																															7						7
草生管理										1						1			1						1												4
施肥					2																								2								4
防除								0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1	0.5	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		0.5		0.5					0.5						0.5	10
摘らい・受粉									6	6																											12
摘果												35		9																							44
袋かけ														20	10	10																					40
収穫出荷																											20	33									53
新梢管理									2		3					5	5																				15
その他					1			1									1			1			1			3			1								9
																																					0
計	20	20	0	0	3	0	0	1.5	8.5	7.5	3.5	35.5	1	29.5	11	16.5	6.5	0.5	1.5	1.5	0.5	0	1.5	0	1.5	3	20	33	3	0.5	7	0	0	0	10	20.5	268
月計	40			3			10			46.5			41.5			23.5			3.5			1.5			24.5			36.5			7			30.5			

6. 総労働時間

	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			計
総労働時間	300	300	0	10	35	0	5.5	17	87.5	143	173	358	110	248	55	138	97.5	40	25.5	22.5	7.5	108	320	193	192	177	80	132	28.5	2	105	0	0	0	150	308	3,965
うち家族労働	148	148	0	10	35	0	5.5	17	87.5	143	172	172	110	178	55	138	97.5	40	25.5	22.5	7.5	108	160	160	172	172	80	132	28.5	2	105	0	0	0	150	166	3,046
うち雇用労働	152	152	0	0	0	0	0	0	0	0	0.83	186	0	69.8	0	0	0	0	0	0	0	0	160	33	20.3	5.33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	142	920